

地域づくり実践塾 事業報告書

令和5年2月6日

ブロック名：日向・東臼杵ブロック ブロック代表者名 高木慎平

事業目的：地域課題である人材不足の解消に向けた取り組みを通じて、持続可能な地域づくりを実現する。

名 称：第1回 地域づくり実践塾

実 施 日：令和4年10月22日 土曜日

実施時間：午前6時～午前8時

実施場所：日向岬

対 象：参加希望者

参加人数：5名

実施内容：「観光 Run」を展開する東京都の特定非営利活動法人エブリランナー（代表 麦敏光氏）のセミナーを前に、実践プレイベントを開催した。観光資源を、いつもとは異なる「走る視線」で見ることでもまた違った感じ方ができることや、走ったり、歩いたり休憩するなど、自分のペースで続けることや、日向市特産の香酸柑橘であるへべすを活用した水分補給の仕方などについても解説があった。

写真資料：



所 感：

観光 Run 実践イベントとして、当実行委員向けに開催した。参加人数は限られたが、単なるジョギングではなく、日向岬の地形や観光資源を考慮しつつ、科学的根拠に基づいたランニングを実践した。起伏が激しいことから初心者には若干ハードルの高いコースではあるが、天候にも恵まれ、非常に貴重な機会であった。

名 称：第2回 地域づくり実践塾	
実 施 日：令和4年11月25日 金曜日	実施時間：午後7時～8時
実施場所：日向市細島公民館	
対 象：地域住民・各種団体メンバー	参加人数：19人
<p>実施内容：「観光 Run」を展開する東京都の特定非営利活動法人エブリランナーを講師に招き、どこにでもある地域資源を観光コンテンツに磨き上げる方法論を学ぶセミナーを開催した。</p> <p>同法人では、走ることで毎日を幸せに過ごせるというコンセプトに活動を行っており、いわゆるマラソンや体の健康のみを目的とした「耐えるジョギング」ではなく、「朝日を浴びてセロトニン（幸せホルモン）の分泌を促進しましょう」という考え方で Run を実践している団体である。費用をかけず、2次交通対策にもつながることが期待できるため、既存の地域資源を活かしつつ、観光コンテンツに昇華させるにはどのようにしたら良いか？という内容で講演を行っていただき、その後質疑応答を行った。参加者からは、「日向市の素材は Runner にとってどの程度価値があるのか？」や「年齢的に走るのは厳しいが同じような効用が得られる方法はないか？」などの質問が挙がっていた。</p>	

写真資料：



所 感：正味1時間のセミナーを予定していたが、参加者から意欲的な質問が多々あり、15分ほど延長して終了した。真剣なディスカッションも有り、次回に繋がる非常に有意義な時間であった。

次年度の計画：地域づくりの中で、今既にある資源を活用するというポイントは非常に重要である。その一方で、2次交通という弱点の課題を克服する目的もあり今回は観光 Run というコンテンツを選択した。来年度も、引き続き観光 Run を通じた地域づくりの方法を探りつつ、持続可能な地域づくりのために一緒に参画してくれる人材の育成に注力していきたい。